

(素案)

鞆地区まちづくり整備方針



福山市

2009年8月

目 次

1	はじめに	1
2	現状と課題	2
(1)	人口等の現状	2
(2)	道路・交通の現状	6
(3)	地域防災の現状	8
(4)	生活環境の現状	10
(5)	港湾の現状	13
(6)	町並みの現状	15
(7)	土地利用の現状	17
(8)	歴史・文化の現状	19
(9)	産業の現状	20
(10)	観光の現状	22
(11)	現状と課題の整理	26
3	まちづくりの基本方針	27
4	まちづくりの方針に基づく取組	30
(1)	快適に暮らせる環境づくり	30
(2)	安心・安全なまちづくり	36
(3)	歴史・文化と調和したまちづくり	40
(4)	活力ある地域づくり	46
(5)	交流と連携によるまちづくり	52
(6)	まちづくりに即した土地の活用	56
5	鞆地区まちづくり整備方針の体系図	60
6	地区ごとの整備イメージ	61

1 はじめに

鞆地区は、瀬戸内海の中央に位置し、古くから内海を航行する船の潮待ち、風待ちの港として栄え、数多くの文化財や歴史的建造物を有する瀬戸内海を代表する観光地です。

しかし、道路・公園・下水道等の社会基盤整備の遅れから生活環境に多くの問題を抱え、若者世代の町外への流出や少子化等による人口減少とともに高齢化の進行が顕著となり、空き家の増加、家屋の老朽化等により歴史的町並みが失われつつあります。また、鞆地区の歴史と住民の生活の中で守り、育まれてきたお手火神事、お弓神事などの伝統文化の継承にも影響を及ぼすなど負の連鎖が続いています。

鞆地区の再生には、単に町並みの保存を図るだけでなく、交通、防災上の対策などの生活環境の改善を図り、町に活力を取り戻すことが強く求められています。

このような鞆地区が抱える様々な課題の抜本的な解決に向けて、住民とともに1996年（平成8年）に「鞆地区まちづくりマスタープラン」を策定しました。

これに基づき2007年（平成19年）5月に「鞆地区道路港湾整備事業計画」の埋立免許の出願を行い、また、2008年（平成20年）3月には鞆地区の町並み保存に向けた「鞆町伝統的建造物群保存地区」を都市計画決定するなど、鞆地区の再生・活性化に向けた大きな一歩を踏み出したところです。

今後、町並み保存、道路、駐車場等の整備により、生活環境の改善、観光機能の強化などを図り、住民が『誇りをもって住み続け、安心していきいきとした生活をおくることができるまち』とするとともに、鞆地区を訪れる方が歴史と伝統を肌で感じ満喫していただけるような『迎賓都市』を実現していきたいと考えています。

この整備方針は、「鞆地区まちづくりマスタープラン」を基に、住民・事業者などと行政の協働によりまちづくりを進めていく上での、より具体的な施策を取りまとめたものです。